

男女共同参画に関するアンケート調査項目比較表

今回調査項目(案)		R6年度 (2024年度)	H31年度 (2019年度)	変更等の理由
男女平等意識について		1	1	
問1	各分野での男女の地位の平等について	○	○	
仕事と家庭等の両立について		8	8	
問2	仕事と生活の望ましいバランス 自分自身の希望について	○	○	
問2ー2	仕事と生活の望ましいバランス 現状の自分自身について	○	○	
問3	今後、男性が家事等に積極的に参加するために必要だと思うこと	○	○	
問4	家庭における役割分担	○	○	
問4-1	1日の生活時間	○	○	
問5	育児や介護等に関する制度の認知度・利用度	○	○	
問6	男性の育児や介護に関する制度の利用が少ない理由	○	○	
問7	男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと	○	○	
就労について		12	12	
問8	現在の生活の経済的状況について	○	○	
問8-2	現在の生活の経済的状況が苦しいと感じる理由	○	○	
問9	仕事と仕事以外の生活の両立における不安や悩み	○	○	
問10	仕事を辞めた経験	○	○	
問10-2	仕事を辞めた理由	○	○	
問10-3	仕事を辞めた後の再就職について	○	○	
問11	女性が働くことについて	○	○	
問12	女性の就労継続、再就職に必要なこと	○	○	
問13	職場での女性活躍の取組について	○	○	
問14	管理職への昇格の希望	○	○	
問14-2	管理職への昇格を希望しない理由	○	○	
問15	女性の起業促進のために必要なこと	○	○	
地域での男女共同参画について		7	3	
問16	地域活動での男女共同参画について	○	○	・問19～問22は、女性活躍・男女共同参画の重点方針2024(女性版骨太の方針2024)において、防災分野における女性の参画拡大や全国の男女共同参画センターの機能強化が挙げられていることを参考にし て追加する。
問17	地域活動における方針決定の場に女性が参画するために効果的なこと	○	○	
問18	男女共同参画の視点からの災害対応として日頃から行う必要があること	○	○	
問19	女性防災士の活動に対する認知度	○	-	
問20	災害時の避難所運営について必要なこと	○	-	
問21	広島市男女共同参画推進センターの認知度	○	-	
問22	広島市男女共同参画推進センターの役割として期待すること	○	-	
男女間における暴力の防止・被害者支援について		7	8	
問23	配偶者、交際相手などに対しての暴力の有無	○	○	・問24-4は、回答者が実際の被害者である場合、精神的に負担をかけることになること、計画の策定に当たり必ずしも必要な項目ではないことから削除する。
問24	配偶者、交際相手などからの暴力の有無	○	○	
問24-2	配偶者や交際相手などから受けた暴力に対しての相談の有無	○	○	
問24-3	相談しなかった理由	○	○	
問24-4	性的な行為の強要の有無、性的な行為を強要された加害者との関係	-	○	
問25	ハラスメント(セクシュアル・マタニティ・パタニティ等)の経験、見聞きしたことの有無	○	○	
問25-2	ハラスメント(セクシュアル・マタニティ・パタニティ等)が行われた場所	○	○	
問26	配偶者や交際相手などからの暴力を防止するために必要なこと	○	○	
性の多様性について		1	0	
問27	性的少数派の方々に対して必要だと思う取組	○	-	・問27は、過去の審議会における意見や関心度を踏まえて、新たに調査項目の大項目「性の多様性について」を立てて性的少数派の方々に対して必要だと思う取組の項目を追加する。
女性の健康について		1	0	
問28	女性の健康に関して必要な支援の有無(どのような支援が必要か)	○	-	・問28は、女性活躍・男女共同参画の重点方針2024(女性版骨太の方針2024)において、「生涯にわたる健康への支援」が挙げられていることを参考にし、新たに大項目「女性の健康について」を立てて、女性の健康に関して必要な支援の有無についての項目を追加する。
男女共同参画社会の実現に向けて		2	3	
問29	男女共同参画に関する認知度(用語)	○	○	・問29は、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が令和6年4月1日に施行されたことを踏まえ、設問に加える。 ・問29-2は、法律等の認知度はこれまでの計画本文等 に使用されていないことを踏まえ、削除する。
問29-2	男女共同参画に関する認知度(法律等)	-	○	
問30	男女共同参画社会実現のために広島市に期待すること	○	○	
自由意見		○	○	
合計		40	36	